

高良さん躍動日本「銀」

聴覚障がい「みんなに感謝」 五輪バレー

豊見城市出身

ブルガリアで4日まで開かれた聴覚障がい者の五輪「デフリンピック」で、女子バレーボール日本代表が銀メダルを獲得した。セッターとして全試合に出た豊見城市出身の大学生高良美樹さん(22)は「表彰台に立った時にお世話になった人の顔が浮かんだ。みんなにありがとうと伝えたい」と手話で語った。

大会には12カ国が参加、日本は予選リーグ2位で決勝トーナメントに進み、準決勝は3対1の接戦でアメリカに勝利したが、決勝でウクライナにストレートで負けた。高良さんは攻撃の起点として活躍したが、ウクライナ選手の平均身長が約20センチも高く、「ブロックにやられた。早いコンビプレーが必要なのが分かつた」と振り返った。

滞在中は国内の手話と異なる国際手話を使って「明日の試合よろしく」「今日のプレーよかったですね」など、他国の選手とコミュニケーションも取れたという。高良さんは「いい経験になった。これからもバレーボールを続けたい」と語った。

デフリンピックでプレーする高良美樹さん＝ブルガリア(高良さん提供)

